



2026年度より

ルーテル学院中学校にグローバルコース新設

国際色豊かなルーテル学院100年の伝統を受け継ぎ新たな一歩へ

特徴

- ① 日本の教員免許を取得している英語ネイティブの外国人教員が担任
- ② 日本の教員免許を取得している英語ネイティブの外国人教員が担当するハイレベルな英語の授業
- ③ 日常的に生の英語に触れる機会が増え、英語でのコミュニケーション力が伸ばせるコース
- ④ 日本語支援を必要とする生徒は、日本語指導資格を有する教員の日本語授業を受講
- ⑤ 日本語支援を必要とする生徒には、英語、日本語以外のいくつかの教科授業に英語を話すアシスタントを配置
- ⑥ 将来的な進学先として、国内の高校以外に海外の高校やインターナショナルスクール等を想定

募集対象

※出願資格ではありません

- ①九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部を2026年3月に卒業見込みの児童
- ②インターナショナルスクールまたは小学校を2026年3月に卒業見込みの児童
- ③日常的に英語でのコミュニケーションをとっている児童
- ④帰国子女で英語と日本語でのコミュニケーションが可能な児童
- ⑤実用英語技能検定準2級又はTOEFL Primary Step 2の212点程度を取得している児童
- ⑥将来的に海外の高校又はインターナショナルスクールのIBDP等への進学を考えている児童

グローバルコースはインターナショナルスクールと同等ですか？

違います。インターナショナルスクールのような各種学校の位置付けではありません。学校教育法第一条に定められた一条校の中学、いわゆる普通の私立中学校ですので、卒業時にはルーテル学院中学校の卒業資格が授与されます。

応募条件はありますか？

基本的には、日本語と英語の両方でコミュニケーションがとれて、英語の授業は英語で、日本語の授業は日本語で理解できることが条件になります。

グローバルコースを卒業後に日本の高校への進学は可能ですか？

可能です。日本の高校のみならず、海外の高校やインターナショナルスクールのIBDP（インターナショナルバカロレアディプロマプログラム）に進学ができる程度の英語力を身につけることを目標にしたコースです。

入試はどのようになっていますか。

次の3種類があります。

- ①九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部児童対象の併設校入試
募集時期: 11月上旬 入試日: 11月下旬
試験内容: 書類審査、英語、英語面接、日本語面接
- ②グローバルコース前期入試（中学の専願・奨学前期入試と同日）
募集時期: 11月上旬 入試日: 11月下旬
試験内容: 書類審査、英語、算数、英語面接、日本語面接
- ③グローバルコース後期入試（中学の一般前期・奨学後期入試と同日）
募集時期: 12月上旬 入試日: 1月上旬
試験内容: 書類審査、英語、算数、英語面接、日本語面接

詳しくはウェブサイトで開催される最新情報をご確認ください。

グローバルコースに入学するには日本語は必要ですか？

必要です。英語の4技能やコミュニケーション力をつけるのを前提にしたコースですが、社会や理科などの教科の授業は基本的に日本語で行われますので、それらの授業がある程度理解できる必要があります。将来的には、数学や体育、音楽などの英語以外の他の教科も英語で授業ができるようにしていけるようにと考えています。日本語の支援が必要な生徒には、英語ができるアシスタントを配置してサポートしていく予定です。

募集定員は何名ですか？

各学年20名です。

